

エコアクション 21

# 環境活動レポート

2015年度

対象期間 2015年7月～2016年6月

有限会社 共立自工  
(マツダオートザム中標津)

2016年8月30日発行

# 会 社 概 要

## ① 事業名及び代表者

有限会社 共立自工 (マツダオートザム中標津)  
代表取締役社長 八島 一将

## ② 所在地

本社 〒086-1142  
北海道標津郡中標津町大通南3丁目1番地  
TEL 0153-72-2740 FAX 0153-72-0399  
床面積 787 m<sup>2</sup>

桜ヶ丘工場 〒086-1002  
北海道標津郡中標津町東2条南8丁目2-3  
TEL 0153-72-5677 FAX 0153-72-6272  
床面積 493 m<sup>2</sup>

## ③ 事業内容

- マツダブランドの新車販売
- 中古車販売
- 自動車整備業(車検. 点検. 板金. 塗装. 修理)
- 部品. 用品. タイヤ等の販売
- 損害保険代理店業務

## ④ 事業規模 (2014 度)

従業員数	22人
年間売上高	29,500万円
年間エコカー販売数	46台
年間車検台数	633台
年間点検台数	199台

## ⑤ 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者	専務取締役	中谷 昌一
E A 2 1 事務局	自動車検査員	佐藤 龍一
	桜ヶ丘工場長	波田野 一哉

## ⑥ 認証・登録範囲 全組織・全事業

## EA-21 促進組織図

代表取締役社長  八島 一将	1. 環境方針の策定 2. 経営資源の準備 3. 代表者による全体の評価と見直し 4. 環境活動レポートの承認 5. 環境目標及び環境活動計画の承認
----------------------	--

環境管理責任者  中谷 昌一	1. EA-21 システムの確立、実施推進、維持管理 2. 環境への負荷及び取組への自己チェックの実施 3. 環境目標及び環境活動計画の策定 4. 環境活動レポートの作成 5. EA-21 に関する実施把握と報告 6. EA-21 環境経営マニュアルの作成
----------------------	---

EA-21 事務局  佐藤 龍一 波田野 一哉	1. 環境管理責任者の補佐業務 2. 環境関連法規の取りまとめ及び遵守状況確認 3. 教育、訓練計画の策定と実施／緊急時対応訓練含 4. 環境文書及び記録の作成、管理 5. その他EA-21に関する業務
----------------------------------	---

本社  清水 嘉博
1. 環境活動計画の実施 2. 問題点の是正処置

桜ヶ丘工場  寿見 敏男
1. 環境活動計画の実施 2. 問題点の是正処置

# 環 境 方 針

## 〈基本理念〉

有限会社共立自工は、地球環境保全が人類共通の最重要課題であることを認識し、自動車販売・整備等当社のすべての事業活動のあらゆる分野で、環境に配慮した行動に努め、広く地域・社会に貢献します

## 〈基本方針〉

1. 自動車販売・修理・整備の事業活動を通じて、環境マネジメントシステムを構築し、環境目標・環境活動計画を定め継続的な改善に努めます
2. 環境に関する法律・規則・協定等を遵守し、当社が同意する行政機関・団体・地域等の要請に協力します
3. 事業活動において環境に負荷を与える影響を削減するために、下記の事項に対して優先的に取組みます
  - ① 工場・オフィスのエネルギー使用量の削減
  - ② 業務行程から排出される産業廃棄物の削減
  - ③ 節水活動による水使用量の削減
  - ④ 化学物質管理体制の構築と適正管理による汚染予防
4. 事業活動での使用物品・事務用品等グリーン購入を促進し、低燃費車自動車販売・修理・整備を通してお客様の環境負荷低減に努めます
5. 全従業員へ環境保全に関する啓蒙・啓発に努め、地域での環境保全・社会貢献活動に積極的に参加します

制定 2014 年 7 月 1 日

有限会社 共立自工

代表取締役社長 **八島 一将**

## 環境目標・環境活動計画一覧表

取組項目	2013年度 実績と単位	2014年度 目標	2015年度 目標	2016年度 目標	2015年度実地項目
二酸化炭素の排出削減	171633.72 kg-CO <sub>2</sub> /kWh	163931.64 kg-CO <sub>2</sub> /kWh	160764.03 kg-CO <sub>2</sub> /kWh	158712.11 kg-CO <sub>2</sub> /kWh	● 各項目の実施項目
二酸化炭素の排出削減	総電気使用量の削減 75434 kWh	10%削減 67891	13%削減 65628	15%削減 64119	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 未使用電気の消灯徹底</li> <li>● 業務改善による残業時間の削減</li> <li>● 休日のOA機器の電源管理</li> <li>● メジャーサイン季節ごとのタイマー管理</li> <li>● 冷暖房温度の設定</li> <li>● エアコンの日常管理</li> </ul>
二酸化炭素の排出削減	業務車輛燃料(ガソリン.軽油)の削減 12006 L	3%削減 11646	5%削減 11406	6%削減 11286	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アイドリングストップの徹底</li> <li>● エコドライブ実地でお客様に効果PR</li> <li>● 代車貸出時の燃料見直し</li> </ul>
二酸化炭素の排出削減	暖房.ボイラー燃料(灯油)の削減 23608 L	3%削減 22900	5%削減 22428	6%削減 22192	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ボイラーの効果的使用</li> <li>● 暖房機の効果的な使用</li> <li>● 各機器の日常点検</li> </ul>
廃棄物排出量の削減	総廃棄物量 8120 kg	3%削減 7876	5%削減 7714	6%削減 7633	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 分別の徹底(分別ボックス)の設置</li> <li>● 両面コピー.裏面の利用</li> <li>● 社内ランの活用(コピー.プリント削減)</li> <li>● 作成文書の見直し</li> <li>● 産業廃棄物の適正処理</li> <li>● リサイクルパーツの使用</li> </ul>
水資源使用量の削減	総水源使用量 1400 m <sup>3</sup>	2%削減 1372	3%削減 1358	4%削減 1344	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 節水シール設置</li> <li>● 温水等の定期的な点検</li> <li>● 洗車作業の見直し</li> </ul>

取組項目	2013年度 実績と単位	2014年度 目標	2015年度 目標	2016年度 目標	2015年度実地項目
化学物質管理体制の構築と適正管理による汚染防止	計画達成度 100%	塗料.溶剤等の在庫.購入量の把握と保管場所の管理	塗料.溶剤等の在庫.購入量に対しての使用量把握と保管場所改善	環境にやさしい塗料.溶剤等の代替化検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 塗料.溶剤等の種類ごとの在庫把握</li> <li>● 塗料.溶剤等の種類ごとの適正在庫量検討</li> <li>● 塗料.溶剤等の種類ごとの適正購入量の徹底</li> <li>● 保管場所の管理</li> </ul>
グリーン購入の促進	実績なし	10品目	100%	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エコマーク商品の優先購入</li> <li>● ネットや通販活用で効果的な購入</li> <li>● 再生材料から作られた商品の購入</li> </ul>
環境配慮商品販売向上	エコカー (i-stop.クリーンディーゼル含)新車の販売 27台 パック de メンテの契約車 両増 49台	前年比 105% エコカー販売 28台 パック de メンテ 51台	前年比 105% エコカー販売 48台 パック de メンテ 72台	前年比 105%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エコカーの商品知識向上(全員)</li> <li>● 定期点検必要性の知識向上(全員)</li> <li>● パック de メンテのチラシ有効活用</li> <li>● 定期点検の DM 他での入庫促進</li> </ul>

二酸化炭素排出係数 0.680 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 北海道電力 2012年度

◇ 2016年度目標を中期の到達目標とする

## 環境目標の実績と環境活動の取組結果と評価

2015年7月～2016年6月

項目	実績	目標	評価
二酸化炭素排出量	146004.171 kg-CO <sub>2</sub> /kWh	160764.03 kg-CO <sub>2</sub> /kWh	○
電気使用量の削減 (二酸化炭素排出量削減)	60288kWh	2013年度実績に対して 13%削減 65858kWh	○
ガソリン、軽油使用量の削減 (二酸化炭素排出量削減)	10453L	2013年度実績に対して 5%削減 11406L	○
灯油使用量の削減 (二酸化炭素排出量削減)	18428L	2013年度実績に対して 5%削減 22428L	○
産業廃棄物の削減	8583kg	2013年度実績に対して 5%削減 7714kg	×
水資源使用量の削減	1180L	2013年度実績に対して 3%削減 1358L	○
化学物質管理体制の構築と 適正管理による汚染予防	在庫量の把握と保管場所の管理徹底	在庫量の把握と保管場所の管理徹底	○
グリーン商品購入の促進	100%実施	100%実施	○
エコカーの積極的販売 (環境配慮商品の販売向上)	前年対比 96% 46台	前年対比 105% 48台	×
パック de メンテの販売 (環境配慮商品の販売向上)	前年対比 96% 69台	前年対比 105% 72台	×

達成○ 未達成×

二酸化炭素排出係数 0.680 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 北海道電力 2012年度

### 1. 二酸化炭素の排出削減

- 電気使用量の削減

未使用電気の消灯、メジャーサインの季節ごとの設定、残業時間の削減が実施できた事により良い結果となった

- ガソリン、軽油使用量の削減

アイドリングストップ、エコドライブ、代車に使用燃料給油のお願いステッカーを貼り努力した事により良い結果となった

- 灯油使用量の削減  
ボイラーと暖房機の効果的な使用を意識して実施する事で良い結果となった
- 2. 産業廃棄物の削減  
一般ごみの分別徹底. コピー機利用の見直し. リサイクルパーツの活用を実施したが、仕事量の増加により産業廃棄物が増加した
- 3. 水資源使用量の削減  
節水シール貼付による意識改革と洗車作業の見直しを実施する事で良い結果となった
- 4. 化学物質管理体制の構築と適正管理による汚染防止  
在庫量と種類の把握及び保管場所の管理を徹底できた
- 5. グリーン商品購入の促進  
エコマーク商品と環境配慮商品の購入を 100%実施できた
- 6. エコカーの積極的販売  
エコカー販売台数は目標未達成だが、昨年が前年比 170%だった事と業界全体の落ち込みの中で前年並みを維持できたことは健闘したと思う
- 7. パック d e メンテの販売  
商品勉強会による意識向上とチラシを活用し車検時プランは増加したが、新車時プランが新車販売台数の落ち込みにより目標は未達成だった

## 次年度の取組み

- 電気使用量削減への取組み：本年度の取組みを継続して実施する
- ガソリン・軽油使用量削減への取組み：本年度の取組みを継続して実施する
- 灯油使用量削減への取組み：本年度の取組みを継続して実施する
- 産業廃棄物削減への取組み：本年度の取組みを継続して実施する
- 水使用量削減への取組み：本年度の取組みを継続して実施する
- 化学物質管理の取組み：本年度の取組みと 2016 年度目標での取組みを実施する
- グリーン商品購入の促進：本年度の取組みを継続して実施する
- エコカーの販売向上：本年度の取組みを継続して実施する
- パック de メンテの販売向上：本年度の取組みを継続して実施する



## 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価

法規制等の名称	主な要求事項	遵守評価
産業廃棄物処理法	産業廃棄物保管場所の表示及び管理 産業廃棄物の適正処理 産業廃棄物処理業者との契約書 産業廃棄物処理業者の許可コピー マニフェストの5年間保管	○
自動車リサイクル法	使用済み自動車の適正処理	○
公害防止条例	騒音発生施設の届出 振動発生施設の届出	○
火災予防条例	少量危険物貯蔵設置届け及び表示 火気厳禁表示	○

## 環境関連法規への違反・訴訟の有無

過去3年間環境関係法規違反・訴訟はありません

また、環境当局から違反等の指摘や指導も1件もありません

## 代表者による全体評価と見直し結果

社員全員のエコアクション21に取り組む姿勢及び環境に対しての意識が向上していると思う。特に工場の中の整理整頓清掃や駐車場などの清掃がなされ綺麗な状態を維持できている。環境目標も未達成分は原因の把握ができているし、他は順調なのでこのまま継続すること

- 環境方針は改定の必要なし
- 環境目標は改定の必要なし
- 環境活動計画は改定の必要なし
- 環境経営システムは改定の必要なし